

生活科学学習指導案

指導者 京都市立紫野小学校 清藤 沙織

1. 日 時 令和4年2月4日（金） 第5校時（14：00 ～ 14：45）

2. 学年・組 第1学年2組（28名）

3. 場 所 1年2組教室

4. 単 元 名 「もうすぐ みんな 2年生」

5. 単元目標

自分たちの生活や成長を振り返ったり、それらのことを次の1年生に伝える活動を通して、自分のことや支えてくれた人について考えることができ、自分が大きくなったことや1年間でできるようになったことが分かるとともに、身近な人々と進んで交流したり、これからの成長への願いをもって意欲的に生活したりすることができるようにする。

6. 単元の評価規準

		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
内容の まとめ ごとの 評価規準		<ul style="list-style-type: none"> 身近な人々とかかわることの楽しさが分かり、互いに交流することのよさに気づいている。 【内容(8)】 <ul style="list-style-type: none"> 多くの人の支えにより自分が大きくなったこと、自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、自分のよさや可能性に気づいている。 【内容(9)】	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合う活動について、自分なりに考えたり、工夫したり、振り返ったりしている。 【内容(8)】 <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の成長を振り返りこれまでの生活や成長を支えてくれた人々へ感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長について考え、それを素直に表現している。 【内容(9)】	<ul style="list-style-type: none"> 自分たちの生活や地域の出来事を身近な人々と伝え合うことに関心を持ち、進んで交流しようとする。 【内容(8)】 <ul style="list-style-type: none"> 自分自身の成長に関心を持ち、これまでの生活や成長を支えてくれた人々へ感謝の気持ちをもつとともに、これからの成長への願いをもって意欲的に生活しようとしている。 【内容(9)】
	単元の 評価規準	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を振り返ったり、幼児への伝え方について考えたりすることを通して、他者と関わるよさや役割が増えたこと、できるようになったことなど、自分の成長に気づいている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を振り返ったり、幼児の立場や気持ちを考える活動を通して、他者に伝えたいことを考えたり、自分のことについて考えたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 1年間を振り返ったり、幼児への伝え方について考えたりすることを通して、他者と進んで交流したり、これからの自分の成長への願いをもって生活をしたりしようとしている。
小 単 元 ご と に お け る 評 価 規 準	(A)		①これまでの出来事を思いだして、写真を集めたり、カードやワークシートに書くことができる。	①1年間の出来事やその時の気持ちを思いだしている。
	(B)	①自分や友達が成長していることに気づくことができる。	②1年間で自分が頑張ったことについて、友達に発表することができる。	②1年間の自分の成長に関心を持ち、進んで見つけようとしている。
	(C)	②お家の人への発表を振り返り、自分の成長を実感し、それを支えてくれている人がいるということに気づくことができる。	③1年間の自分たちの成長をお家の人や次の1年生に伝えようと、発表の内容を考えることができる。	

	(D)		④自分の成長を喜び、支えてくれている人に対して、思いを持つことが出来ている。	
	(E)		⑤これまでの活動について振り返り、したことや、もっとやってみたいことなどを表現したり、伝え合ったりしている。	③2年生になっても、頑張ろうと、これからの成長に思いを持っている。

7. 児童について

本学級の児童は、生活科の学習の中での具体的な活動を通して、自分と身近な人々、自然とのふれあいの中で自分自身や自分の生活についての関心を高めてきた。

「さかせたいな わたしの はな」では、自分の植木鉢に朝顔のたねをまき、朝顔の水やりを行い、成長の様子を観察していった。休み時間に朝顔の様子を見に行き、「芽がでたよ」「つるがどんだんのびているよ」「きれいな花が咲いたよ」など、成長の様子を教師や周りの友達に伝えていた。収穫した朝顔のたねは、自分たちも入学してからそうしてもらったように、次の1年生へプレゼントしようと楽しみにしている。「あきといっしょに」においては、まつぼっくりやどんぐりを使って秋のフェスティバルを開催した。その活動を通して、「楽しいおもちゃを作りたい」「みんなで楽しめるようにルールをつくろう」と相手のことを考えたり、集団を意識したりしながら、活動することができるようになってきた。しかし、その一方で、自分たちでだけで楽しんでしまう様子も見られる。

また、本学級の児童にとって、この1年間は、環境や生活スタイルが大きく変化し、初めてのことに挑戦する緊張感や、課題に対してうまくできず自信を失う気持ちを味わったこともあったと思われる。それと同時にうまくできないことも繰り返し練習することによってできるようになったり、友達と励ましあったり切磋琢磨したりするうちにできるようになったこともたくさん経験してきた。しかし、児童の中には、毎日を何気なく生活していたり、以前のことを振り返ったりする経験は少ない子どもも多く、自分の成長を実感できておらず、自己肯定感の低い児童もいる。

本単元において、入学してから1年間でできるようになったこと、がんばったことを振り返り、来年の1年生の気持ちになって学校を紹介する活動を通して、自分の成長を実感し相手意識をもちながら、これからの生活に意欲をもつことができるようにしていきたい。そこで、授業では、自分の成長に意識が向けられるよう、これまでの写真の提示やペア学習や全体交流を取り入れる。そうすることで、自分の記憶を膨らませて表現できるようにしていきたい。自分の頑張りが認められることや自分の成長に気づくことではじめて、次にもっとこんなことをしたい、誰かに伝えたい、という気持ちが生まれてくる。そこで、その思いをもとに、まず学級内での交流を行い、さらに、新1年生に学校を紹介したり、お家の人にできるようになったことを発表したりする活動を行う。自分の成長をお家の人喜んでいて姿を見て、改めて自分の成長を実感し、自分に自信がもてるようにしたい。また、もっと色々なことができるようになりたいと意欲をもち、家庭や学校などでの自分の役割について考えるきっかけにもしていきたい。

本時では、一人一人の「楽しかったこと」「できるようになったこと」「がんばったこと」を書いたカードを色分けして用意しておく。それを全体交流の際に、3種類に色分けして前に掲示することで自分の成長を実感すると共に、他の人の成長にも気づけるようにしたい。一対一での交流の際には、感想を伝えながら、ロイロノートで作成した表に「がんばったね」や「すごいね」の思いを込めたサインを集められるようにすることで、自分の頑張りが認められたという実感が視覚的に持てるようにしたい。

最後には、この学習を振り返り、2年生になる気持ちを高め、自分に対して期待や意欲を持てるようにしたい。



9. 評価計画表（全14時間）

	時	○学習活動 ◆主な発問 子どもの反応	指導のポイント	評価
ホップ	1	<p>○思い出を友達と話す。</p> <p>◆入学してからこれまでに、どんなことがあったか話そう。</p> <p>入学式のときは、ドキドキしたね。背が○cmも伸びたよ。みんなで公園へ行って遊んだね。アサガオの水やりを毎日がんばったよ。ウサギと仲良くなったよ。平仮名も漢字も書けるようになったよ。幼稚園の時より友達がたくさん増えたよ。縄跳びを毎日がんばって、うまくとべるようになったよ。</p>	<p>㊦教科書P124, 125を見て問いかけたり、掲示を工夫したりするなど1年間を思い出せるようにする。</p>	<p>思 態</p>
ステップ1	2	<p>○思い出を集めて、楽しかったことや、がんばったこと、できるようになったことに分けてみよう。</p> <p>◆たくさん思い出を集めて、楽しかったことや、がんばったこと、できるようになったことに分けてみよう。</p> <p>友達にやさしくできるようになったよ。アサガオの水やりをがんばったらいっぱいお花がさいて、たねもいっぱいとれたよ。「にこにこ大きくせん」で、お風呂掃除を続けてがんばっているよ。運動会で速く走れるようになったよ。一人で自転車に乗れるようになったよ。</p>	<p>㊦思い出が見付けられない子どもがいる場合には、友達から聞けるようにしたり教師が全員にカードに書いて渡したり、これまでの学習で作成したカードや行事写真や側面掲示等を一緒に見たりしながら思い出せるようにする。</p>	<p>知 思 態</p>
	3	<p>○集めた思い出をみんなで伝え合う。</p> <p>◆集めた思い出を友達と楽しく伝え合おう。</p> <p>Aさんは字がうまくなったね。たくさん練習したんだね。運動会は、みんなでダンスを踊ったよ。楽しかったし、みんなががんばったね。私も鍵盤ハーモニカが難しくて大変だったけど、頑張って練習したらできるようになったよ。</p>	<p>㊦思い出を絵やカード、実演するなど、いろいろな方法で伝えてもよいことを知らせる。</p> <p>㊦二人組で多くの友達とやりとりするなど、交流の仕方を工夫する。</p>	<p>知 思</p>
	4	<p>◆友達と伝え合ってどう思ったかな。</p> <p>楽しかったことだらけでびっくりしました。よく見ると友達がいてくれるから楽しかったんだなって思いました。運動会は、最初は不安だったけど、みんなががんばったから、できるようになったし、楽しかったんだと思います。友達もがんばったことがいっぱいあって、すごいなあと思いました。できるようになったこともいっぱいあって、Aさんはいっぱい練習したから字がうまくなっていました。私も鍵盤ハーモニカをいっぱい練習してできるようになったので、たくさんできるようになったことをお家の人にも伝えたいです。</p>	<p>㊦友達同士で伝え合うことで、友達の成長にも目を向け、みんなの成長を喜ぶことができるようにする。</p>	
ステップ2	5	<p>○お家の人にも自分たちの成長を見てもらおう。</p> <p>○「大きくなったよ」の発表会を開く。</p> <p>◆「大きくなったよ」の発表会を開こう。</p> <p>お家の人にかっこいい姿をみせたいな。頑張ってできるようになったことを伝えたいな。</p>	<p>㊦発表をした後に、お家の人からコメントをもらうことで、自己肯定感が高まるようにする。</p>	<p>知 思</p>
	6	<p>○「大きくなったよ」の発表会を振り返り、気づいたことを話し合う。</p> <p>◆「大きくなったよ」の発表会を振り返り、分かったことや考えたことを話し合おう。</p> <p>恥ずかしがり屋で、授業で発表できるか心配していたけど、大きな声で発表していたのがすごいね。運動会のダンスがとっても上手だったね。好きなことが増えたね。お母さんが洗い物をしている時に「お手伝いする」と言って手伝ってくれるAちゃんが大好きだよ。頑張って発表する姿がかっこいい。</p>		

ステップ3	7 8	○新しい1年生のために何がしたいか考える。 ◆新しい1年生のためにどんなことをしたら良いかな。 はじめに何が知りたいかな。自分もそうだったけど不安に思っていることがきつとあるよね。知りたいことは何だろう。勉強がむずかしいって思っていたな。友達もできるか心配だったな。じゃ、私たちがまず友達になるのがいいよね。わたしも自己紹介したいな。学校や先生のことは知らないと思うからそれを教えてあげよう。	㊦自分たちが入学する前の気持ちを振り返ることで、新一年生の気持ちを考えられるようにする。	思
	9 10 11 12	○「1年生は楽しいよ」の動画作りの計画を立て準備する。 ◆新しい1年生のために、どんなことを伝えようかな。 新しい1年生が見ていて楽しい動画にしたいな。鍵盤ハーモニカを吹いて聴かせて楽しい気持ちになってもらいたいな。学校で迷わないように、1年生の靴箱と教室の場所を教えてあげよう。ランドセルを背負っている様子を見せてあげよう。靴箱と教室を動画で案内するけど掃除も念入りにしておこう。早く動画を見てほしいな。見てもらうのが楽しみだな。	㊦計画や活動を見直す時間を取りながら、自信をもって主体的に活動できるようにする。 ㊦「プログラミング教育スタンダード」参照 ㊦学校生活のことを伝え、新一年生のことを考え活動したりしている姿を認めたり、励ましたりすることで2年生へと向かう自覚の芽生えにつなげる。	思 思
ジャンプ	13	○1年間を振り返り、もっとやってみたいことなどを伝え合う。	㊦2年生の教室を訪問する、2年生でどんなことをするか調べる、2年生でやりたいことを考える等、2年生に向けて思いや願いを膨らませる時間を十分にとるようにする。	思 態
	14	○2年生の教室を訪問し、授業を見たり、質問したりする。 ◆2年生ってどんな勉強をするのか見たり聞いたりしてみよう。 難しい漢字をいろいろ習うんだね。かけ算の九九を覚えるんだって。早くやってみたいな。けんぼんハーモニカであの曲をふいてみたいな。2年生ってすごいな。2年生になるのが楽しみになってきたよ。 ◆どんな2年生になって、どんなことをやってみたいかな。 1年生ではアサガオを育てて2年生では野菜を育てると聞いたから頑張って育てたいな。学校探検をしたから今度は町探検にも行きたいな。友達と仲良くなったからもっと仲良くなりたい。 2年生になったら、新しい1年生にもっといろいろ教えてあげたいな。	㊦同じたてわりグループや2学年交流ペアなど、これまで一緒に活動してきた2年生に質問することで、子どもが安心して尋ねられるようにする。 ㊦p136-137「ジャンプ大集合」のページに、これまで各単元のジャンプページに貼ってきたシールを貼り直すことで、1年間の活動と自分の成長を振り返り、2年生での学校生活に期待を高められるようにする。	思 態

○本単元で育成することを目指す具体的な資質・能力に関連する教科等

1年 国語科	「いい こと いっぱい、一年生」
1年 音楽	「みんなで あわせて たのしもう」
1年 図画工作	「おいわいのかざり」

10. 本時の目標

楽しかったこと、できるようになったこと、頑張ったことを発表する活動を通して、自他の成長やよさに気づくことができるようにする。

11. 本時の展開（4／14時間）

学習活動 (○主な発問及び指示・予想される児童の反応)	・指導者の手立て及び支援 ■ICT活用
<p>○本時のめあてを確かめる。</p> <div data-bbox="169 517 761 573" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 1年間の思い出を楽しく、伝え合おう。 </div> <p>○活動の流れや仕方を確かめる。</p> <p>○一年間の思い出を伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字がたくさん上手にかけるようになりました。書けるようになった漢字を紹介します。 ・掃除の仕方が上手になりました。特にほうきを上手に使えるようになりました。 ・お家でのお手伝いを自分から進んでできるようになりました。 <p>○友達と伝え合ったことを全体で交流する。 (前半と後半の間にも全体交流を行う。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Aさんは、大縄大会が楽しかったそうです。 ・Bさんは、運動会のダンスを頑張ったそうです。 ・Cさんは、鍵盤ハーモニカを上手に弾けるようになったそうです。 <p>○友達と伝え合って、どう思ったか交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みんなで頑張ったから楽しかったのだと思います。 ・友達がいたから、楽しかったのだと思います。 ・頑張って練習したから、できるようになったのだと思います。 ・できるようになったことがたくさんあります。 <p>○本時を振り返り、これからの活動について考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとたくさんの人に知ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のタイムテーブルと、聞く時、話す時の視点を全体で確認する。 ・活動のながれを示すことで、見通しをもって取り組むことができるようにする。 <p>■写真や動画（ロイロノートを活用）、実物などを見せながら話すことで、言葉で言いにくいことも伝えることができるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学級を前半後半と分けて伝え合うことで、みんなの前で話すことが難しい児童も安心して活動に取り組むことができるようにする。 ・前半の伝え合いの後に、全体交流を一度入れることで、後半も意欲的に伝え合いができるようにする。 <p>■聞いてもらった人に、反応カードに印をつけてもらうことで、発表の楽しさを感じられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体で、感想を交流し合うことにより、自分や友達の成長や良さに気づくようにする。 ・「楽しかったこと」「がんばったこと」「できるようになったこと」に色分けをして前に掲示することで、自分たちの成長を実感できるようにする。 <p>・自分や友達が成長していることに気づくことができている。</p> <p>【知・技】 (発言・行動観察・ワークシート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見通しをもつことにより、今後の活動への意欲を高められるようにする。

12. 評価（場面：視点・方法）

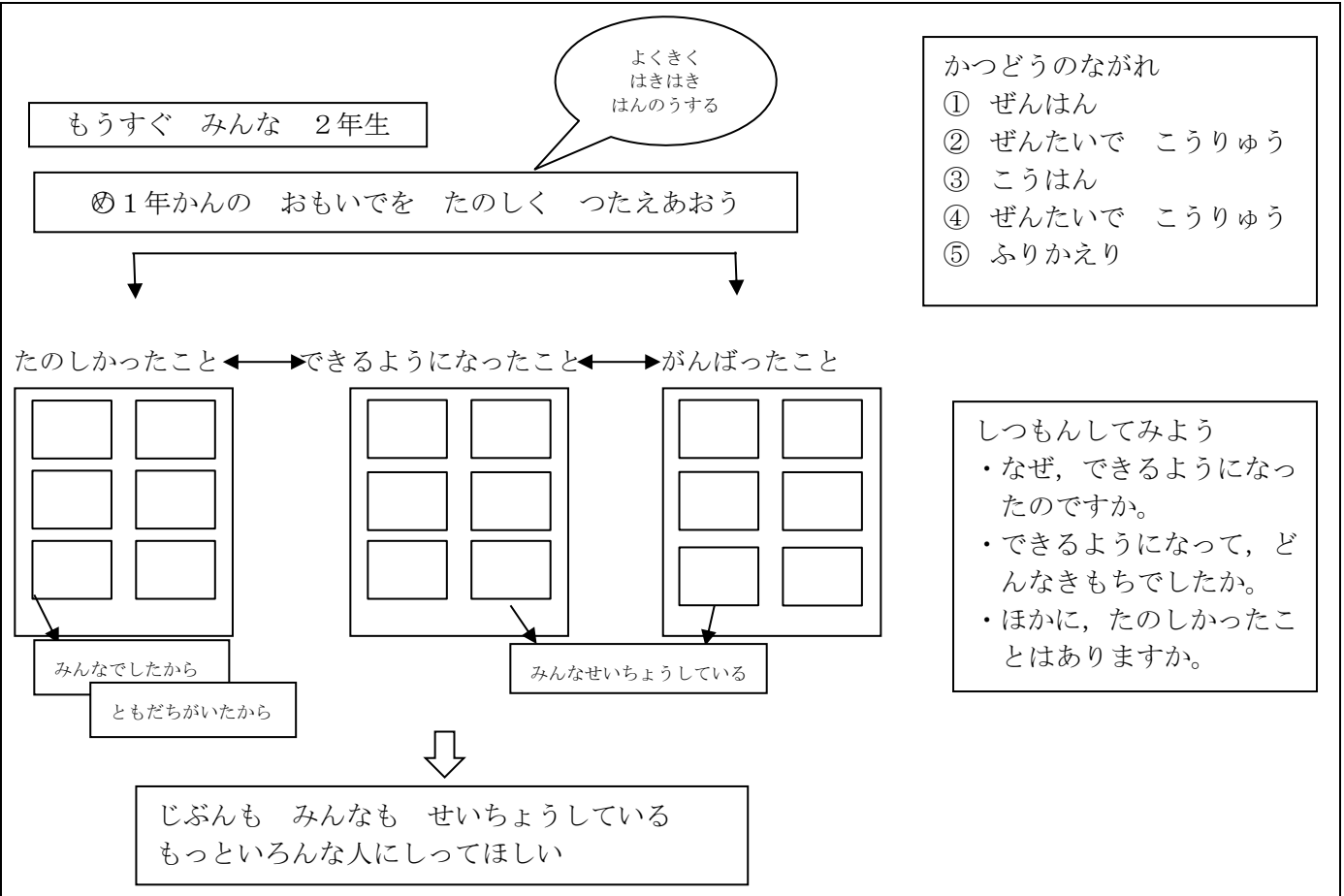
・自分や友達が成長していることに気づくことができる。

【知・技】（発言・行動観察・ワークシート）

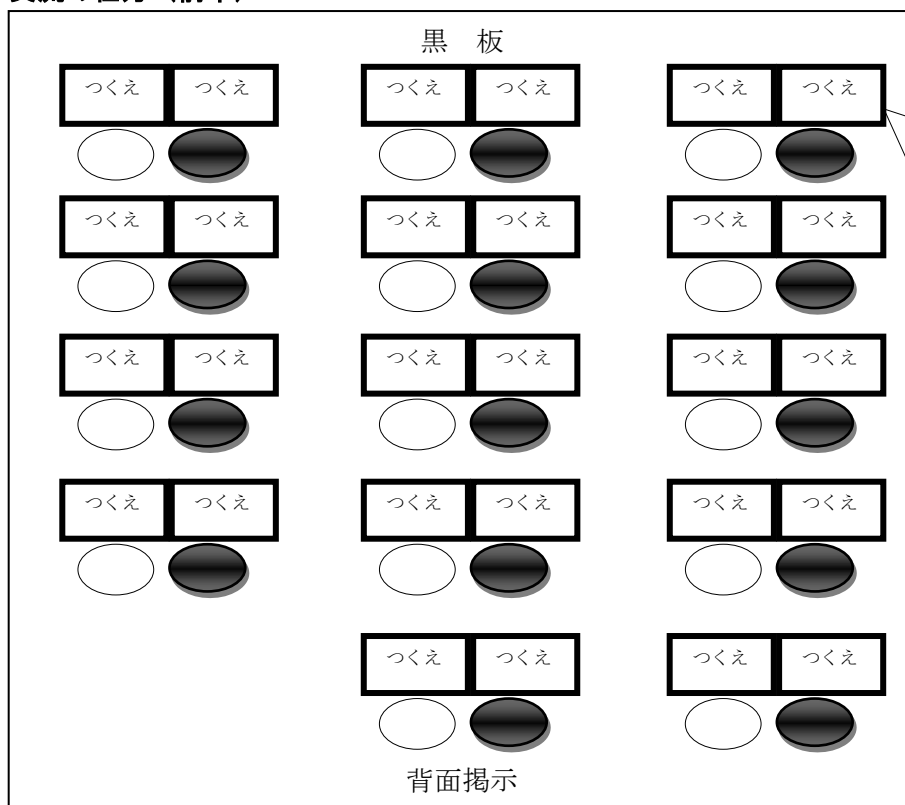
ルーブリック

A	B	支援を要する
自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、自分や友達の成長に気づくとともに、その成長のためには周りの人の支えや協力があったことにも気づくことができる。	自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどが分かり、自分や友達の成長に気づくことができる。	自分でできるようになったこと、役割が増えたことなどに気づけていない。 →一年間を振り返り、できるようになったことを思い出すことで自分の成長に目が向けられるようにする。

13. 板書計画



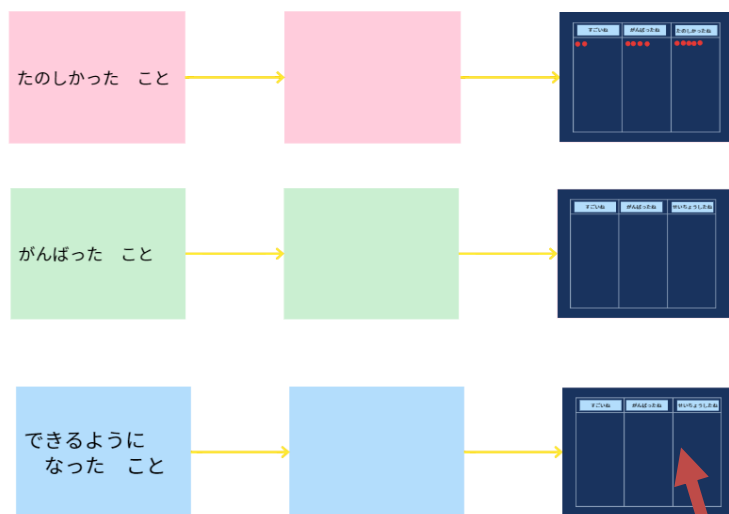
14. 交流の仕方（前半）



聞く児童●
話す児童○
が一对一で交流。
話す児童は交流が終わ
ったら手をあげて待
つ。
聞く児童は、交流が終
われば、手を挙げてい
る児童の所に移動す
る。

・背面掲示板に、これまでの学校生活を振り返ることのできる、行事カードを掲示しておく。

15. ICT の活用



すごいね	がんばったね	たのしかったね
● ●	● ●	●